

○ 全国と比較して、5.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	77.8	71.7	6.1
(30)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	26.0	19.6	6.4
(32)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	34.1	26.2	7.9
(47)	国語の勉強は好きですか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	28.8	23.6	5.2
(48)	国語の勉強は大切だと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	67.9	60.0	7.9
(50)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	60.5	52.3	8.2
(56)	数学の勉強は大切だと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	58.0	49.8	8.2
(58)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	45.7	38.8	6.9

○ 全国と比較して、3.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(4)	自分には、よいところがあると思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	41.3	37.2	4.1
(7)	将来の夢や目標を持っていますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	42.5	39.4	3.1
(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	35.7	32.2	3.5
(24)	読書は好きですか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	38.6	35.2	3.4
(46)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	48.1	43.8	4.3
(49)	国語の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	34.2	30.4	3.8

○ 全国と比較して、3.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	「寝ている」と回答した生徒の割合	30.4	34.7	-4.3
(53)	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	15.3	19.4	-4.1
(63)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	11.2	15.7	-4.5
(64)	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページなどを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	「当てはまる」と回答した生徒の割合	9.6	12.7	-3.1
(69)	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	39.2	42.9	-3.7
(70)	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	40.2	43.3	-3.1

○ 全国と比較して、5.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(34)	学校の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	50.3	58.7	-8.4

○ 考察と今後の方向性について

設問番号	考察と今後の方向性
(4)	「自分には、よいところがあると思いますか」の問いに、「当てはまる」と答えた生徒は、本市41.3%（全国37.2%、愛媛県36.9%）となっており、やや高い数値を示しています。今後も日々の教育活動を通して、教師が、生徒の良い行いを認め賞賛したり、生徒同士が認め合う場を設けたりするなど、今治市の子どもの良さを更に伸ばしていきたいと考えています。
(32)	「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」の問いに、「当てはまる」と答えた生徒は、本市34.1%（全国26.2%、愛媛県31.3%）となっており、全教育活動で郷土愛を育む取組が行われている成果だと考えます。また、今年度より全面実施する本市独自の『今治モデル『ふるさとキャリア教育』』も積極的に進め、発達段階に応じたキャリア教育の充実を図っていきます。さらに、ALTの活用も積極的にを行い、生きた英語に触れる機会を多く設けていきたいと考えています。
(34)	「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の問いに「当てはまる」と答えた生徒は、本市50.3%（全国58.7%、愛媛県55.7%）と、かなり低い数値を示しています。この結果を受け止め、各中学校においては、ICT機器の効果的な活用を取り入れた授業改善に積極的に取り組み、子どもたちにICT機器の重要性を理解させ、更なる利用の促進を図っていく必要があると考えています。
(63)	「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」の問いに、『当てはまる』と答えた生徒は、本市11.2%（全国15.7%、愛媛県12.3%）となっており、やや低い数値を示しています。今後は、英語の授業で生徒がALTと関わる機会を積極的に設け、ネイティブな英会話に親しむことができる授業づくりをする必要があると考えています。
(2)	「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の問いに「寝ている」と答えた生徒は、本市30.4%（全国34.7%、愛媛県33.1%）となっており、やや低い数値を示しています。生徒の生活リズムを整えていくには、家庭との連携が必要であります。生徒一人一人が安定した家庭生活や学校生活を送ることができるよう、生活習慣の定着について家庭との連携の重要性を各校へ働き掛けていきます。